

三愛 ビュー view

発行所：三船病院相談室
 創刊日：2003年8月15日
 〒763-0073
 香川県丸亀市柞原町366
 Tel 0877-23-2341
 Fax 0877-23-2344

臨床検査って何？

臨床検査課 課長 片山弘之

皆さんこんにちは、片山です。臨床検査は各種の技術を駆使して、患者様の体の成分、機能の変化などを調べ、診療に役立てるものです。臨床検査は検体検査と生理検査の二つからなっています。検体検査とは、患者様の血液・尿・便などを検査することで、生理検査とは、脳波・心電図などを検査することです。

まず検体検査からお話します。血液は実に多くの病気の情報を教えてくれます。10cc程度の採血で以下の検査ができます。

【1】心臓・血管・血液の検査・・・動脈硬化や貧血・炎症・感染症などを調べます。

① 脂質代謝検査

(総コレステロール・HDL コレステロール・LDL コレステロール・中性脂肪(TG))

② 心筋検査(LDH・CPK)

③ 貧血検査

(赤血球数・ヘモグロビン・ヘマトクリット値・血小板数・血清鉄・フェリチン)

④ 炎症・感染症検査(CRP・白血球)

【2】主に肝臓の検査・・・肝機能や栄養状態を調べます。

① 肝機能検査

(AST(GOT)・ALT(GPT)・LDH・ALP・Ch-E・ γ -GTP・総蛋白・アルブミン・総ビリルビン・直接ビリルビン)

【3】糖尿病(血糖・HbA1c)

【4】腎臓の検査(尿酸・尿素窒素(UN)・クレアチニン)

【5】膵臓の検査(血清アミラーゼ)

【6】甲状腺の検査(F-T3・F-T4・TSH)

【7】癌の検査(腫瘍マーカー)

尿検査は、患者様が痛い思いをせずに、様々な病気のスクリーニング(ふるい分け)ができます。腎臓病・肝臓病・糖尿病・尿路感染症などです。便検査は、便潜血ヘモグロビンという大腸癌の検査などがあります。

次に、生理検査の話をしていきます。その検査のうち、心電図検査はベットサイドで行うことができ、不整脈・心筋梗塞を含む心臓の状態を把握し情報を得ることができます。脳波検査は、脳に関するいろいろな病気の情報が得られます。生理検査は直接患者様に接するので、個

人情報などプライバシーの保護に最大限に留意しつつ、患者様が不安と不快感を持たないで検査が受けられるよう、気を配らなくてははいけません。また、検査について不明・不安な点は気軽に質問など声をかけていただけるような検査室の雰囲気作りも重要です。(ただ、安易に検査結果を伝えて不安・混乱を与える事はしてはいけません。)これは、安全かつ正確な検査を行うためにもとても重要です。

精神科の患者様は、自分からここが痛いとか、気分が悪いとか申告されることが少ないので、臨床検査を活用して患者様の病状を早く知ることができると思います。臨床検査課としては、検査結果を速く医師や病棟に報告するのは当然ですが、正確な検査結果を出すことが第一と思っています。そのために、毎朝一番に2種類のコントロール血清を使い全項目測定を行い、試薬や機械の精度を保持しています。また、検体に異常値が出た時は2回測定して確認しています。そして、年に2回外部精度評価を受け精度の維持に努めています。

臨床検査は日進月歩であり、最新の知見に基づく質の高い検査データを臨床に提供するために必要な知識・技術を身に付ける努力が必要です。そのために、院内・院外の研修会での意見交換・勉強に励みたいと思います。臨床検査技師としての検査の知識だけでなく、病気の知識も豊富に持ち、医師とのコミュニケーションを行えることが理想です。



検査室



作業の様子 →

デイケアでの就労支援の取り組み

精神保健福祉士 上杉 幸恵

当院デイケアでは、就労を目指す利用者様を対象に様々なプログラムを実践しています。今回はこれらの取り組みの中から就労講座についてお話したいと思います。

就労講座は、「デイケアでできる就労準備をしよう！」という観点で平成22年度から始まりました。デイケアだからこそできる準備として、就労に向けての不安となりうる要素を解決すること、職業準備性を高めていくことを目指しています。ここでいう職業準備性とは、就労に必要な生活基盤や基礎知識、コミュニケーション能力などの事を指します。具体的にどの様なことをしているかということ、基本的な生活リズムを整えるために必要なことを考えたり、自分自身について(得意なこと・苦手なことなど)振り返る機会を持つなど利用者様の身近にあるテーマを用いて行っています。その中でスタッフは働いている先輩として、時には同じ生活者としての視点から関わりを持ち、「働く」意欲の向上を図ると共に利用者様が改めて自身の生活を振り返り、働き続けるための生活基盤を確立できるよう心掛けています。基本的に講座は利用者様の普段の生活や思いを聞くため、ディスカッション形式で行われていますが、作業療法士が中心となり、対人技能や社会生活能力を高めていくための社会生活技能訓練(SST)を行う場合や、就労を支援してくれる制度を学ぶために外部講師を招いて講座を行うこともあります。このように就労するために必要な要素を出来るだけ学べるよう配慮しています。

デイケアでの就労担当スタッフは、作業療法士1名、

精神保健福祉士2名の計3名で構成されており、多職種で関わっています。スタッフ同士で意見交換し、一人の利用者様に対して多角的な視点から支援することや、様々な面から課題やプラスポイントを捉えることが多職種で関わる利点です。

今後、デイケアにおける就労支援の役割の重要性は更に高まっていくと考えています。デイケアに通う利用者様はそれぞれに様々な目的を持っています。その中で、働きたいが何から始めて良いかわからない方、就労は人ごとのように感じている方等いらっしゃいますが、デイケアで準備を進めていくうちに変化があるかもしれません。私たちスタッフは、利用者の小さな変化でも大切なものと捉え、利用者様の可能性を引き出す手助けになりたいと考えています。日々の関わりの中で、利用者様から学ぶことがたくさんあります。私たちスタッフも利用者様と共に成長していけるよう日々努力していきたいと思っています。



就労講座の様子

三船病院医師からのメッセージ・・・

「マカロン-Les macarons-」

医師 三木 知子

今年の4月に三船病院に赴任しました、三木です。私の好物はお菓子で、今回は大好きなマカロンの歴史にふれてみたいと思います。

16世紀にイタリアのフィレンツェからアンリ2世のもとに嫁いできたカトリーヌ・ド・メディシス姫は、フランスに数々のお菓子を伝えましたが、その一つがマカロンです。このお菓子はイタリアがルーツですが、フランスで花開きました。地方により、様々なマカロンがありますが、カラフルな色の生地クリームを挟んだ丸い洋菓子は「マカロン・パリジャン」と呼ばれています。日本でも一般的なものはこのタイプです。このマカロンは、20世紀のはじめに、パリにある「ラデュレ」というお店で経営者であるピエール・デフォンテーヌが考え出したものです。彼は、2つのマカロンを合わせて、その中に美味しいガナッシュ(チョコレートクリーム)を挟むことを思いついたのです。

マカロンのことばかり考えていると食べたくなりますが、本やインターネットでたくさんのレシピも紹介されています。いつの日か、自分でも作ってみようと思います。皆さんも、精神的安定のために、創作活動やリラックスできる時間も大事にしましょう。

三愛会 トピックス



★第27回相談室セミナー

7月28日(木)に第27回相談室セミナーを開催しました。グループホームの管理者である大路健 PSWを講師にお招きしグループホームについてのお話をいただきました。グループホームに退院して良かった事や悪かった事など、実際にたくさんの質問や感想をいただき、とても内容の濃いセミナーとなりました。皆さまの退院に向けての不安や期待など、お伺いすることができました。



★三船病院夏祭り

8月6日(土)三船病院夏祭りを開催しました。ゲストに丸亀バサラ京極隊と歌手の林美和子様をお招きし、迫力のある演舞と歌謡ショーが行われました。暑い中でしたが、皆さん、盆踊りや屋台を楽しんでおられました。毎年恒例となっている花火は、暑さも忘れるほど会場は盛り上がり、夏祭りは大盛況のうちに終えることができました。



三船病院 委員会活動紹介

「教育委員会」

委員長 看護副部長 川田 知子

病院教育委員会は、全職員を対象とした教育研修活動を行い、その活動状況を評価・検討・周知することを目的に、各委員会や各箇所の協力を得て研修会や講習会を統括し院内外の年間教育を計画運営しています。また、下部組織に図書委員会を持ち院内図書の管理運営と共に利用促進活動を実施しています。

具体的内容としては、全職員対象の院内研修の計画と広報活動・各箇所単位での研修計画の取りまとめ・研修報告書ファイルの作成・新規購入図書の申請受付・年報誌の編集があります。

当委員会主催でも、平成23年度は外部講師によ

る「医療安全管理について～転倒・転落防止のための安全対策ガイドラインを中心に～」 「結核感染症」など、また院内講師による「漢方シリーズ」「作業療法:臨床実習について」等を計画実施してきました。これら研修への参加により、全職員の業務遂行能力向上ひいては患者サービス向上に繋げていきたいと考えています。

これからも、各委員会および関係各所の協力のもと、職員教育の企画検討を行っていききたいと思います。



《委員会》

- ・教育委員会(第1水曜日)
 - ・個人情報保護委員会(第1水曜日)
 - ・情報システム委員会(第1水曜日)
 - ・クリニカルパス委員会(第1水曜日)
 - ・地域生活支援委員会(第1水曜日)
 - ・行動制限最小化委員会(第1金曜日)
 - ・人権委員会(第1金曜日)
 - ・医療安全管理委員会(第2水曜日)
 - ・衛生委員会(第2水曜日)
 - ・業務改善委員会(第2水曜日)
 - ・診療録管理委員会(第2金曜日)
 - ・薬事審議委員会(第3水曜日)
 - ・院内感染対策委員会(第3金曜日)
 - ・栄養管理委員会(第4水曜日)
 - ・褥瘡予防対策委員会(第4水曜日)
 - ・患者サービス向上委員会(第4水曜日)
 - ・病院機能評価委員会(水曜日)
 - ・倫理委員会(年1回)
 - ・医療ガス安全管理委員会(年1回)
 - ・予算管理委員会(年1回)
 - ・接遇管理委員会(年2回)
 - ・診療情報提供委員会(随時)
- * 12月以降一部変更予定



【介護老人保健施設 福寿荘】

支援相談員 森崎 智子

「成年後見制度」

成年後見制度とは、自身での判断能力が低下した方が不利益を被らないようにするために、家庭裁判所がその方を援助する人を選任する制度です。

成年後見人が家庭裁判所によって決定されると、決定前の施設との契約はすべて効力を失うため、施設と利用者家族との間で交わされる全ての契約を、成年後見人の名前で交わし直すこととなります。また、他科受診の決定、リハビリ計画書やケアプランのサイン、財産管理(施設の利用請求書の受け取りやお小遣いの入金など)も全て成年後見人が行うこととなります。その他、利用者が使用する日用品を補充する場合も成年後見人の了解が必要となります。

支援相談員として、成年後見人と連絡を密に取り、利用者の必要としていることを正確にお伝えするように心がけています。

【三愛会コミュニティケアセンター】

地域活動支援センターはなぞの 秋山 友紀

地域活動支援センターはなぞのは、地域で生活している精神障害のある方を対象に日中の居場所の確保することや日中活動の提供、その他さまざまな相談にも応じています。精神障害のある方が地域での孤立することを防ぎ、各々のエンパワメントを促進し、地域でのセーフティネットとしての役割を果たせるよう活動しています。現在150名の方がメンバー登録しており、一日の平均来所者は20名です。さまざまな活動を実施しておりますが、最近では、メンバー主催の行事や地域住民とつながりをもてる活動など、メンバーが役割感を感じられるようなものを企画、実施しています。

また、今年の4月から以下の3点が変更となりました。①365日開所から祝祭日が閉所になったこと②開所時間が6:00~22:00から7:00~18:00になったこと③利用料一日100円(月上限300円)から無料になったこと、です。

私たちは精神障害のある方が、はなぞのに来所して行事に参加したり、メンバー同士で友人や仲間を作ったりすることで、それぞれの趣味や生きがいに繋がることを嬉しく思っています。メンバーの皆さんの「友達を作りたい」「話し相手が欲しい」「何か役に立つことをしたい」「仕事をしたい」などの希望が実現するように、また今の生活をより豊かにできるようにサポートしていきたいと思えます。

【三船病院の理念】 病院の愛、家族の愛、社会の愛(三愛)に包まれた患者様の医療を目指します。

【病院の基本方針】

1. 急性期精神医療から精神科リハビリテーションまで多様なニーズにお応えします。
2. 患者様とご家族に信頼される病院作りをします。
3. 患者様の権利と尊厳を尊重し、療養生活の質の向上に努めます。
4. ご家族と一緒に患者様の退院促進と地域生活支援を積極的に取り組みます。
5. 地域における社会資源を活用・開拓します。

《編集後記》

ようやく残暑も和らいでくる時期となりましたが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。次号では生活訓練施設「花園荘」の移行についてふれたいと思っております。ご期待ください。

(三船病院医療相談室 PSW)

